

雪害被災

中国へ救援物資

AMDAが医薬品など

海外の災害などへの救援（AMDA）が、中国の雪害被災地に送る救援物資のOのアジア医師連絡協議会 第一陣が二十七日、AMD



広島空港で旅客機に積み込まれる中国の大雪被害救援物資

Aのボランティアとともに広島空港（広島県本郷町）を出発した。今回の第一陣は、AMDAの依頼を受け、た広島県の仲立ちで、広島—上海—西安便を運航している中国西北航空による無償空輸が実現した。

この日空輸されたのは、凍傷などの医薬品約百キと衣料品約一ト。第二陣以降には有償での輸送となるが、AMDAは三月五日までに計三トの物資を陝西省の西安まで運び、できれば三月上旬のうちに現地に運び込みたいとしている。

大雪による被害が広がっているのは、中国の四川省と青海省の省境をまたぐチベット族の自治州。国連人道問題局（UNDHA）などを通じてAMDAに入った

情報では、約二十万人が雪のため孤立。これまでに約五十人が死亡し、四十万頭から五十万頭の家畜が死

んでいるという。

西安まで到着した救援物資は、四川省人民政府が同省の省都、成都まで輸送、さらに標高四千メートルを越す被災地域まで運び込まれる計画。同行のボランティアの笹山徳治さん（五十）は「広島県新市町は、四川省の關係機関と連絡を取り合いながら、一日も早い物資の現地到着をめざす」と話していた。今回の救援は、UNDHAからの依頼で、すでに今月六日に発生した中国雲南省の地震救援を行っていたAMDAが援助を決定。物資の緊急輸送について、AMDAから四川省と友好提携している広島県に、航空会社への橋渡しを要請されていた。

AMDAによると、今回だけは無償空輸となったが、費用の問題からあと二回程度の輸送しかできない一方、地震救援に集めた援助物資が二十近く残っているため輸送費用の解決手段を探しているという。